

教材教具名 「大きい・小さい」ドア 数字カード「数唱」	教科(数学)
-----------------------------------	----------

教材教具写真



教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい パネルシアターを通して「大きい」「小さい」の概念を形成する。
数字カードを作る活動を通し、数の概念について理解する。
- 2 発達段階 操作することを通して数や量を認識する時期
数や量の概念を形成する時期
- 3 使い方 「お友達の家を訪ねてみよう」というテーマで、パネルシアターを行い、小さなドアに住んでいるお友達から順々に家を訪ねていく。そこに住んでいる動物に期待感をもちながら、「大きいドア」「小さいドア」という言葉かけから大小の概念を楽しみながら形成する。
普段口に入れるじゃがいもをスタンプに用いて、生徒が興味をもって数字カードを作る。カードの上に書かれた数字を手がかりに数唱しながら、スタンプを決められた数だけ押す。あらかじめ、スタンプを押す箇所をマークしておき、手と目の協応を育てる。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)

授業に長時間取り組むことが難しい生徒にとって、パネルシアターを通し、物語に期待感をもち授業に参加することが可能なため、楽しみながら身につけたい力を養うことができる。生徒が物語に入っていけるように、教師が率先して声かけを行うことが大切である。生徒の好きなキャラクターを登場させるのも効果的であると思う。

授業に作業的学習を組み入れることで、生徒も意欲的に授業に取り組むことができた。スタンプを押す箇所にマークをしておくこと、視覚的に生徒が取り組みやすくなる。また、できあがったカードを使って、同じ数の数字カードを選ばせる学習や、スタンプの上から再度シールを貼るなどして何度も繰り返し数唱に取り組むことが可能である。